

--

1 主題名及び教材名

思いを伝え合う 「わたしだって」
------------------

2 ねらい

<相互理解, 寛容> B  自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、相手のことを理解し、自分と異なる意見も大切にすること。	けい子が、お姉さんとの出来事から考えたことについて〈修にとつた自分の態度〉〈すぐに声をかけたお姉さんの思い〉に着目して話し合うことにより、自分の気持ちを相手に伝え、相手の気持ちを理解しようとする態度を育てる。
--	--

3 ねらいとする道徳的価値

相互理解とは、相手の意見や思いがどのようなものであるかを考えながら、自分の考えを伝えていき、だんだんと望ましい人間関係を構築していくことである。黙っているだけではお互いの立場を理解し合うことはできない。望ましい人間関係を築くには、自分の思いを相手に伝えるとともに、相手のことを理解し、自分と異なる意見も受け入れる心を持つことが大切である。
---

4 教材について

本教材は、図画工作の時間に、修から絵を汚されたことが許せなかったけい子が、お姉さんとの出会いから、学校での出来事を思い出す話である。 お姉さんは、ジュースをかけられた立場でもけい子を気にかけ、会話をしている場面が見られる。一方、修とはお互いの立場を理解し合えないでいる。 そこで、内容項目に関わる価値理解を深めるために、お姉さんがすぐに声をかけてくれた思いについて考えさせる。失敗を許すことだけでなく、自分の気持ちも伝えることのよさにも気づかせていく。 このように、双方の立場から、考えさせることができる教材である。
---

5 子どもについて

子どもは、友達との考えの違いから言い合いになってしまうことがある。また、子どもによっては、自分の思いが伝わらないと黙ってしまって塞ぎ込む姿や、謝られたら「いいよ」と、自分の言いたいことを我慢する姿も見られる。一方、時間をかけて伝えたいことを相手に話す子どもや、少し時間を置くことで冷静になり、相手を許せた経験がある子どももいる。相手の気持ちに向き合い、自分の思いも伝えることが相互理解の第一歩であり、そこから異なる考えや意見を大切にすることのよさを実感させたい。
---

6 本実践の主張点

① 主題に迫り、自己と他者を比較して多様な考えに気付く「中心発問」 ・けい子が車の中で考えていたことについて多様な考えを出させ、その理由を話し合うことで、相互に思いを伝え合う大切さに気づかせていく。
② 価値理解をより深めていく「見直しの発問」 ・ジュースが服にかかったのに、すぐに声をかけたお姉さんの気持ちを話し合うことで、主人公が安心し、内省するきっかけになっていることに気づかせる。
③ 子どもの考えを整理し、深めるための助けとなる「手立て」 ・トラブルが起きた時の会話がわかるスライドを提示し、レストランの出来事や会話のやりとりが視覚的にわかるようにする。

7 学習展開

	学習活動	指導上の留意点
導入	1. 「許す」「許してもらおう」経験について振り返る。(5分)	<p>○友達の失敗を許したり、許せなかったりした経験について語らせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「いいよ。」とは言ったけど、仕方なく言ったこともあるな。</li> <li>・いくつかの経験を取り上げ、トラブルが起きたときに大事なことは何かと問いかけ、めあてを位置づける。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>トラブルが起きたときに大事なことは何か考えよう。</p> </div>
展開	2. あらすじを確認し、けい子の思いについて考え、話し合う。(25分)	<p>○けい子の思いについて話合わせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・黙っているけい子の場面を取り上げ、「この時けい子はどんな気持ちだったかな？」と問い、考えさせる。(作品を汚された悔しさや悲しさ、許せず言葉をかけられなかった気持ち等)</li> <li>・けい子が、お姉さんとの出来事から、車の中でどんなことを考えているか話題にし、中心発問を位置づける。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>けい子は、帰りの車の中でどんなことを考えたのかな。</p> </div> <p>○自分の考えをワークシートに書かせ、発表させる。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>〈お姉さんとのできごとについて〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・悪いのは私なのに、ごめんねと先に謝ってくれて、やさしいな。</li> <li>・自分のことより私のことを考えてくれているなあ。</li> <li>・話ができたから、すっきりしたな。</li> </ul> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>〈修とのできごとについて〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・謝ってくれたのに、「いいよ。」と言えなくて、悪かったな。</li> <li>・自分のことばかりで、修くんの気持ちなんて考えられなかったな。</li> <li>・黙ったままでなく、気持ちを伝えたらよかった。</li> </ul> </div> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主人公の思いを通して道徳的な見方、考え方でワークシートに考えを書くことができているか。</li> <li>・トラブル直後は気持ちの整理がつかず、すぐに許せないことや、「友達のせいだ・・・。」という感情が先立ってしまうことが、自分にもあることに気づかせる。</li> <li>・修さんとは会話が成立していないのに対し、すぐに声をかけているお姉さんに着目させていく。</li> </ul>
	3. 自分の言葉で気持ちを伝えることのよさについて考えを深める。(10分)	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>お姉さんはどうしてすぐに声をかけたのかな。</p> </div> <p>○お姉さんが、けい子にすぐ声をかけた思いについて考えさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・失敗により、相手が悲しい気持ちになることを感じ取ってすぐに声をかけているお姉さんの優しさに気づかせる。</li> <li>・すぐに声をかけてくれたことで、けい子はお姉さんの気持ちがわかって安心し、誰でも失敗があると思い、修のことを思い返すきっかけになっていることに気づかせる。</li> </ul> <p>○許したり、許してもらったりした経験を子どもに語らせ、自分の考えを伝えることの良さに気づかせる。</p>
終末	4. 振り返りをして、これから大切にしたいことを考える。(5分)	<p>○本時の学習で、これからの自分にとって大切だと感じたことを振り返らせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・これから大切にしたいことをこれまでの自分をふりかえりながら書くようにする。</li> </ul> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・許せないときって自分のことしか考えていないから、相手の思いも考えると許せるのかもしれないな。</li> <li>・すぐに許せなくても、時間がたつと相手の失敗を許せることもあるから、「もう気にしていないよ。」と言えようになりたいな。</li> </ul> </div>

8 評価の着眼点

・思いを伝え合うことのよさについて、自分の経験や登場人物の思いを踏まえて発表したり、発表をうなずいて聞いたりしている。